

若いなかま

若いなかま No.190

2014(平成26)年 7月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号
吉塚合同庁舎6F
TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003
E-mail: net.y.d@isis.ocn.ne.jp
ホームページ: http://www.fayd.jp/



平成25年度「家庭の日」「オアシス運動」ポスターの部 最優秀作品
須恵町須恵東中学校2年 荒巻 菜月さんの作品

目次

平成26年度事業計画	5
永年賛助会員に感謝状贈呈	4
青少年育成活動で表彰	3
平成26年度定時総会開催	2

特集「福岡県精神保健福祉センター」を訪ねて	6
地域の話題	7
青少年の健全育成を考える 「青少年育成考」	8
事務局だより	8

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年 社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

公益社団法人 福岡県青少年育成県民会議 定時総会開催される

とき／平成26年5月30日 ところ／ホテルレガロ福岡

県内各地域でさまざまな活動支援を展開し、地域に根差した青少年健全育成に取り組んでいる86名の会員出席のもと（委任状69名）26年度の定時総会が開催された。

海老井悦子・福岡県副知事、岩元一儀・福岡県議会副議長の祝辞に続き、青少年育成に尽力された団体・個人に対する表彰と、永年賛助会員への感謝状贈呈が行われた。議事は、右田喜章県民会議会長ののもと、事業報告、収支決算、役員選任に続き、26年度事業計画及び、収支予算について報告がなされ、それぞれ満場一致で承認された。

青少年と社会のニーズに 適切なる対応を！



県青少年育成
県民会議会長
右田 喜章 氏

平成25年4月1日から当青少年育成県民会議は、公益社団法人として、その果たすべき役割はますます大きくなっている。次代を担う青少年を健やかに育成することは、全県民、全国民の念願とするところである。

今日の青少年の状況をみると、多くの青少年が堅実な夢を持ち、個性や能力を磨き、自らの目的に向かって成長している。その一方で、人間関係の希薄化、規範意識の低下等起因して、反社会的、非社会的問題行動も多く見受けられる。近年急速な少子化の進行や就業形態の多様化、情報化社会の進展により、若者を取り巻く環境も大きく変化している。

子どもが被害者となる事件の相次ぐ発生や青少年の健全育成を阻害するおそれのある違法・有害な情報の氾濫も懸念されており、我々大人にも大きな責任がある。この原因の一つは近所付き合いがほとんど皆無という、地域で孤

立している姿が浮かびあがっているという報告がある。青少年の健全育成に携わる者は、これまで以上に「活動の輪」を広げていくことが肝要だ。急激に変化する時代の「青少年のニーズ」、「社会のニーズ」を適確に把握し、適切な対応に努めるため、国、県の取り組みと歩調を合わせ、市町村民会議の皆様方と一緒に進んでいきたい。

豊かな心、幅広い視野の志を持つため、 青少年アンビシャス運動を推進！



福岡県副知事
海老井悦子 氏

近年、青少年をめぐる環境は大きく変化している。少子化や核家族化、情報化が急速に進む中、年齢が異なる仲間や地域の大人との交流をはじめ、子ども同士で切磋琢磨する機会やデジタルの世界では得られない自然との触れ合いが減少してきている。

「いじめ」や「不登校」「ネット依存」などの問題も後を絶たない。こうした時代にあつて、県民会議の皆様が取り組む役割はますます重要になってきている。子どもたちは我々の未来そのもので、次世代を担う青少年が健やかに成長できるように、県を挙げて取り組まなければならない。平成13年から、豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ、たくましい青少年の育成として「青少年アンビシャス運動」を推進している。時代の変化に適切に対応していくためにも、県民会議の皆様

との連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組みたい。

若者たちの無限の可能性を 引き出す努力を！



福岡県議会
副議長
岩元 一儀 氏

福岡県青少年育成県民会議は、県内各地域の市町村民会議等173会員、趣旨に賛同する企業などの賛助会員440会員、合計613会員からなる。まさに本県における青少年育成団体の中核である。福岡県が推進する「青少年アンビシャス運動」とも連携し、青少年の健全育成に積極的に携わっていただき、感謝するとともに関係者のご尽力に敬意を表したい。

次代を担う青少年が、豊かな心と志を持つて、たくましく成長し、自立した大人となることは県民すべての願いである。しかしながら児童虐待やいじめなど、痛ましいニュースが後を絶たず、その背景として、家庭や地域の教育力の低下、青少年の規範意識やコミュニケーション能力の低下など、指摘されている。県民会議の地域に根差した活動は、子ども達にとつて豊かな心や人間性、社会性を培うことができ、素晴らしい機会になっており、今後ますます重要なものになっていくものと期待している。若者たちは「無限の可能性」が眠っている。私たち大人には、それを引き出せるよう取り組む責務がある。県議会も、青少年の健全育成のため、鋭意務めていきたい。

14個人と3団体に表彰状が贈られる 永年賛助会員に感謝状 (6団体と20個人)

青少年育成活動に貢献した団体・個人に贈られる表彰状の授与が定時総会において、14個人と3団体に贈られた。また、永年賛助会員は10年から30年の団体・個人の方々が対象になり、6団体と20個人に感謝状が贈られた。

個人表彰

(敬称略) ()内は活動年数

◆安岡 藤夫 [28年] 飯塚市

昭和63年から飯塚市少年補導センターの補導員として活躍。自治会、まちづくり協議会青少年育成協議会の会長を歴任し、青少年健全育成活動の中心的存在としてリーダーシップを発揮。町づくりの三世代ふれあい事業の実践などその功績は大きい。

◇野見山三千人 [16年] 飯塚市蓮台寺

平成10年から飯塚市補導委員として活動。青少年の非行防止活動に積極的に取り組まれ「夜間巡回補導員の会」を結成し、青色パトロール車による朝夕の巡回指導を行うなど青少年の安全確保、非行防止、健全育成活動に貢献している。

◆長野 繁蜜 [10年] 行橋市南大橋

平成14年から5年間、行橋市青少年育成市民会議の事務局長として諸事業の企画運営に携わり、市民会議の発展に貢献。平成16年からは行橋署の補導員に任命され、青少年の健全育成に積極的に取り組んでいる。



平成26年度青少年育成団体(者)の表彰を受けた方々

◆田畑盛之助 [12年] 行橋市道成寺

平成14年から少年補導員、市民会議の委員にも任命され、児童の通学時の挨拶運動や駅周辺の補導活動を定期的に取り組んでいる。

平成19年には地域スポーツクラブ「しんでんばるファミリークラブ」を設立しスポーツを通じて明るい地域づくりを目指して活動している。

●久光 良夫 [29年] 小郡市大板井

昭和58年の小郡市青少年育成市民会議発足時から事業に関わり、小郡、大原校区において永年行政区長を歴任し、育成会のリーダーとして活躍。平成11年から2年間、小郡市青少年育成市民会議の会長として中心的役割を担う。

◇南 徳雄 [12年] 小郡市大板井

平成9年から12年間、三国校区において行政区長を歴任し、校区育成会事業を牽引し、地域のリーダーとして活躍。

平成13年からの4年間は小郡市青少年育成市民会議の会長として育成運動の中心的役割を担う。

◆岡本 政隆 [12年] 小郡市大板井

平成14年から12年間、大原校区中央1区において永年に亘り行政区長を歴任し、校区育成事業を牽引され、地域のリーダーとして活躍。

平成18年から4年間は小郡市青少年育成市民会議の理事として小郡市の育成運動に参画している。

◇大空美智子 [20年] 太宰府市長浦台

平成3年から10年まで、平成13年から現在に至る20年間、筑紫野警察署の少年補導員として日頃の地域パトロール活動を実践。

毎月第1、第3金曜日には夜間街頭補導活動を実施し、青少年の非行防止、健全育成に貢献している。

◆宮垣 大夢 [16年] 太宰府市五条

小学校6年生の平成6年に「少年の船協会」団員として入団、平成7年にはジュニアリーダークラブにも加入する。

平成10年からリーダーとして、平成24年には実行委員長として乗船。OBとして青少年の指導、育成に貢献。

これらの活動は青少年の範となっている。

第190号
★花村 宏輝【12年】遠賀町大字今古賀
 平成14年から12年間遠賀町青少年育成町民会議の会長として「青少年の主張大会・鮭の放流・ふるさと遠賀凧揚げ大会」などの事業を中心の指導者として実践。遠賀町における青少年育成事業活動への功績は大きい。

☆岡部 裕實【31年】田川市大字奈良
 昭和58年に設立された田川市青少年育成市民会議（現在は連絡協議会）の会長として育成活動の中心的役割を担われた。平成15年からは副会長として補佐している。また社会教育委員の会議の会長としてジュニアリーダー組織の立ち上げや地域の音楽祭（ドリウムナイト）を率先垂範して実施するなど他の地域の範となっている。

★三宅 力【33年】大任町大字大行事
 大任町青少年育成町民会議の前身である青少年指導会からのメンバーで30年以上にわたり、活動を継続させている。町民会議では長年副会長職を務め、大任町における青少年健全育成活動を牽引。また永年、町の民生委員を務め、地域からの信頼も厚く地域における青少年健全育成運動への功績は多大である。

☆川野 秀丸【15年】荏田町大字片島
 平成16年から現在に至るまで、荏田町町民会議の役員として、町における育成活動に参画するとともに、交通安全指導員会長、交通安全推進協議会副会長、行橋交通安全協合理事、青色回転灯パトロール隊長、防犯指導委員等を歴任。「地域で守ろう 子どもの安全」をモットーに、防犯、交通安全、環境改善活動に取り組んでいる。

★高橋 宏【10年】糸田町自由が丘
 平成14年から24年まで、県民会議青少年育成センター運営委員会委員長として県内における育成運動の推進を図るため育成センターの運営の中心的役割を担う。平成16年からは県民会議の理事として県民会議の運営、県民会議事業の推進に貢献。

団体表彰

◆行橋北校区青少年育成協議会◆

代表者：田嶋 澄夫（行橋市行事）

平成2年から区長会、老人会、子ども会女性学級などの団体が参加する同育成協議会は学校と地域と連携し、交通安全運動、校区一斉ゴミ拾い活動、ふれあい農業体験学習、夜間パトロール、子ども講座、通学合宿などの事業を実施。その活動は健全育成へ多大な功績を与えている。

◆池尻ホークススポーツ少年団◆

代表者：福井 鋭一（川崎町）

平成14年の結成以来、野球を通して、青少年に相互の親睦、技術の向上を図るとともに元気で明るい礼儀正しい子どもの育成を目的として活動。地域においても2ヶ月ごとに地域内の清掃活動を実施している。これらの活動が健全育成に貢献。

◆川崎ドリムススポーツ少年団◆

代表者：谷 隆行（川崎町）

平成16年結成以来、野球を通して心身の鍛錬とスポーツマンシップを学び、規律を重んじ明朗な社会人としての基礎を養成。次代を担う青少年の健全育成を図るとともに地域の活性化を目指している。この継続的活動が青少年健全育成に貢献。

永年賛助会員へ感謝状



永年賛助会員で感謝状を受賞された団体・個人の方々

☆永年30年賛助会員 (株)ワイズヨシハラ

☆永年20年特別賛助会員 (株)筑邦銀行

☆永年20年賛助会員 キューサイ(株)

高木印刷社

東野芳枝

☆永年10年特別賛助会員 (二社)福岡県共栄会

☆永年10年賛助会員

福岡県私学協会・秀 ハツエ・佐藤 和久

竹本 邦利・江崎美津子・徳永 文昭・小宮 董

藤田 信治・別府 隆文・陰山 博・井上 俊治

庄司 真美・横山 繁利・藤田 孝子・竹田 芳朗

長野 繁蜜・南 博・太田 強・田和 昭壽

竹井 章

平成26年度 事業計画

福岡県青少年育成県民会議は、青少年を取り巻く社会、経済環境の変化に適切に対応することを基本に、青少年の心を育てるキャンペーン「大人が変われば、子どもも変わる」を主要テーマに、福岡県が提唱する「青少年アンビシャス運動」と連携し、様々な事業に取り組みます。

青少年健全育成事業

- 少年の野外学習事業
平成26年8月6日(水)～10日(日)
長崎県諫早市
- 少年の主張福岡県大会
平成26年8月23日(土)
苅田町中央公民館
- 青少年囲碁交流事業
・福岡県大会
平成26年8月24日(日)福岡市
・中国江蘇省交流大会
平成26年8月26日(火)福岡市
- 福岡県民さわやかマラソン大会
平成26年11月30日(日)
海の中道海浜公園（福岡市）

健全な家庭づくり推進事業

- 「家庭の日」「オアシス運動」
の普及活動
・作文、ポスターの募集
平成26年8月～9月
・表彰及び展示
- 乳幼児教育研修会
平成27年2月



青少年関係団体等の活動支援連携事業等

- 地域連携推進事業(九州ブロック研修会)
平成26年7月～9月
- 九州各青少年育成県民会議九州地区会議
平成26年10月（佐賀県）
- 中央研修会、全国県民会議連合会総会
平成26年11月
- 部会等委員合同会議
平成26年12月
- 青少年育成指導者研修会
平成27年1月
- 市町村民会議・青少年育成運動推進指導員・青少年育成指導者合同研修会
平成27年3月
- 理事会
平成26年12月 平成27年3月



いつもそこに、いつでもそばに。



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行



おかげさまで創立10周年

特集

精神保健・医療・福祉等全般について業務を行う 「福岡県精神保健福祉センター」を訪ねて

とき：平成26年6月9日 ところ：春日市原町3-1-7

近年、こころの悩みから「うつ」や「ひきこもり」、薬物やアルコール依存、自殺等、様々な精神障害を抱えている方が増えている。このような状況は青少年達にも影響があり、私たちも共に考えていくべき問題ではないだろうか。今回の特集は、薬物乱用等を含め、様々な精神障害からの克服支援を行っている「福岡県精神保健福祉センター」を訪ね、青少年を含めた精神障害者福祉、思春期の心の問題、アルコール・薬物依存、心の健康づくり、自殺対策、ひきこもり対策等を紹介したい。

福岡県精神保健福祉センター（以下、センター）は、春日市のJR春日駅近く、クローバープラザの隣にあり、利便性の良いところに位置している。訪問時には、所長をはじめ、担当者の方々から業務内容について説明をいただいた。主な業務は、①「心の健康相談」事業 ②家族を自死で無くした方の「自死遺族のための法律相談」事業 ③薬物問題を抱える家族を対象にした「薬物依存家族教室」事業 ④社会参加や社会復帰（就労準備を含む）を目的とした「精神障害者デイケア」事業を行っている。また、⑤「地域自殺予防センター」⑥社会的ひきこもりの相談・対策事業を行う「ひきこもり地域支援センター」も開設している。センターと同じような業務を行っている施設は福岡市と北九州市にもある。全てを紹介することは紙面の都合上困難なので、特徴的な事業を紹介する。

まず、「心の健康相談」事業は、本人や家族のこころの悩み、アルコールや薬物乱用等の悩み、不登校など思春期に起こりがちな問題の悩み等、精神保健福祉全般の相談を実施している。相談方法は、来所相談と電話相談があり、対応者は、職員や医師、保健師や心理判定員等の専門の方が応じている。平成25年度の来所相談は述べ260件、電話相談は述べ5,370件、相談者は20代から40代が最も多く、福岡ブロック（粕屋、宗像・遠賀・筑紫・糸島）と福岡市居住地から約7割を占めている。相談者は家族や本人からがほとんどで、相談内容は、

心の健康、うつ・うつ状態の内容が多く、これに続く内容として薬物相談が多いのが気になる。

次に、自殺予防に関わる対策として「こころの健康相談統一ダイヤル」（0570-064-556）が平成20年度より開始され、現在県内では「自殺防止総合相談窓口」が活動している。センターでは、地域における自殺対策として、平成25年度は、こころの健康づくり「うつ病スクリーニング」の実施に伴う技術支援を八女市と宗像市で実施している。また、県内の自殺対策の一層の向上を図ることを目的とした地域自殺予防情報センターをセンター内に設置し活動している。

「ひきこもり地域支援センター」は、平成22年にセンター内に開設された。ひきこもり状態にある方（概ね18歳以上）その家族を対象に来所や電話での相談を受けている。平成25年度は来所数延べ547件、電話延べ725件の相談等があった。また、センターと地域にある保健所等が協力関係を築き、相談窓口及び支援の充実・強化を図るとともに、ひきこもり対策への情報を広く提供している。具体的には、ひきこもり支援関係者研究会、ひきこもり状態の方の家族を対象としたひきこもり家族教室や家族サロン、ひきこもり当事者に対する居場所や交流の場の提供を目的とするフリースペース「ねすとたまゆら」の実施等である。

最後に、精神障害者デイケア事業は、精神に障害を持つ方で回復途上にある方

が地域で安定した生活を送ることができるよう ①集団活動を通して社会生活訓練を行い ②社会生活技能の回復を図ることを目的としている取り組みである。クリニック等で直接デイケア等を行っているところは少なく、貴重な事業となっている。具体的には、医療機関で継続治療中在宅者を対象に週4回、プログラムに従って医師や作業療法士、外来専門講師などのスタッフの支援を受け、社会復帰に向けてのとりくみである。平成25年度は、158日開催し、延べ人数2,230名の方が参加している。年齢は30歳代の方が約5割を占めている。なお、これに付随して、就労を希望する方を対象に就労準備グループ（ジョブサークル）も4月、8月、12月の月に開催され、延べ90名が参加している。センターの事業は広範囲に渡り様々な対応が必要になっている。職員の方々の今後益々のご活躍を祈念したい。

◆◆◆取材を終えて◆◆◆

現代は人と人との繋がりが希薄になり、精神障害者を取り巻く環境は益々厳しくなっています。このような現状を考えた時、センターの存在意義は益々重要性が増していくものと思われまます。「何か悩みがあれば自分一人で悩まずいつでも何でも相談してほしい。そして、一緒に考えましょう。それが私たちの一番の願いです」帰り際、そう言う声がセンターから聞こえてきたような気がしました。

地域の話題



ここでは地域の青少年の健全育成をねらいとした活動を紹介しています

星空ナビゲーター

★糸島市青少年育成市民会議

糸島市では、子どもたちの夢を創造することを目指して、昨年度に高性能の移動式天体望遠鏡を購入しました。星空ナビゲーターとは、この天体望遠鏡を用いて観望会を実施する際に活躍している指導ボランティアです。

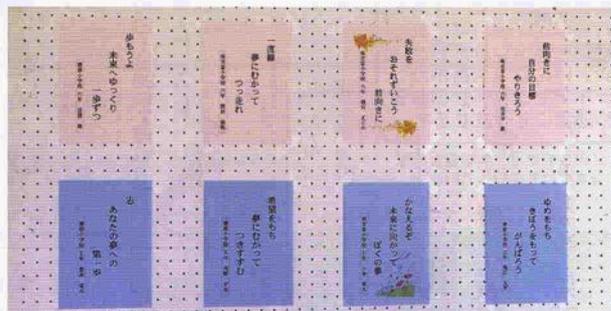
天体観測に興味のある人が、年8回の講座で一緒に星について勉強します。そして、主として子ども会向けに開催される観望会の際に、子どもたちに星の解説をします。

糸島の美しい夜空が子どもたちの夢へと繋がるように、一生懸命頑張っています。



平成25年度「青少年健全育成に関する標語コンクール」

★上毛町青少年健全育成町民会議（築上郡）



「青少年健全育成に関する標語コンクール」は、夏季休業中に町内の小学校5・6年生及び中学校1・2年生を対象に作品を募集しています。平成25年度は、「志」をテーマに募集し、309名の応募がありました。

作品の選考にあたっては、青少年健全育成に関する標語コンクール選考委員会を開催し、入選作品20点を選考しました。

入選作品は、10月13日(日)に、人権啓発事業における人権デザイン標語、人権ポスターと共に道の駅「しんよしとみ」の休憩所に展示するとともに、各学年の入選作品の中から選考された4点をクリアファイルに印刷し、人権啓発物と共に無料配布しました。また、作品については、町広報紙にも作品を掲載し、入賞者には、賞状及び賞品を贈呈しています。

平成26年度も、この標語コンクールをとおして、青少年をはじめとする町民全体に青少年の健全育成について、考え、役立ててもらえる機会として取り組んでいきます。

平成25年度 添田町少年アドベンチャー IN わくわく体験TOKUSIMA(徳島)

★添田町青少年育成町民会議（田川郡）

添田町では、子どもたちが団体生活を通して大自然の中で、お互いの交流を深め、仲間と協力することの大切さや、思いやりの気持ちを育むことを目的とした少年アドベンチャー事業を実施している。この事業も29回目を迎え、今回は団員61名が平成25年8月21日(水)～26日(月)の5泊6日の日程により徳島県を中心に研修を行った。体験活動のメインである、日本一の激流吉野川でのラフティングでは、激流でボートが上下に大きく揺れながらも団員同士が協力してボートを上手く操ることができた。他には、牟岐大島のシュノーケリング、竹ヶ島のシーカヤック、阿波踊りなど、

添田町ではできない数多くの体験を大切な仲間と過ごすことができ、ひと回りもふた回りも成長できた旅となった。



事務局だより

主な行事(H26年3月16日～7月15日)

3月 17日(月) 第15回広報部会

家庭部会

青連協常任委員会

26日(月) 市町村民会議等合同研修会

24日(日) 福岡県江蘇省青少年

21日(月) 囲碁大会(中国江蘇省)

15日(月) 健全育成部会

1日(月) 金澤業務課長赴任

15日(月) 青連協監査

11日(月) 監事監査

4日(月) 第1回総務部会(以降、6/26

28日(木) 第1回理事会

14日(木) 「野外学習」下見

18日(木) 県民マラソン大会

第1回事務局会議(以降、6/9、24、7/8、9、16)

5月 14日(木)

28日(木)

24日(木)

21日(木)

15日(木)

9日(月)

25日(月)

30日(金)

6月 9日(月)

25日(月)

3日(木)

6日(日)

13日(日)

7月 3日(木)

6日(日)

13日(日)

13日(日)

6日(日)

13日(日)

赤い羽根共同募金



高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援します。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営にも役立ちます。

この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

団体賛助会員
久留米商工会議所
(福岡市)

高橋 宏(糸田町)

特別賛助会員
西日本新聞
エスピーセンター
(福岡市)

個人賛助会員
三島 正浩(春日市)

伊東 望

金澤 克朋(天野城市)

長野 一江(宗像市)

高橋 宏(糸田町)

新賛助会員(H26年2月10日～H26年7月10日)

特別賛助会員

西日本新聞

エスピーセンター

(福岡市)

個人賛助会員

三島 正浩

(春日市)

伊東 望

金澤 克朋

(天野城市)

長野 一江

(宗像市)

高橋 宏

(糸田町)

久留米商工会議所

(福岡市)

団体賛助会員

久留米商工会議所

(福岡市)

団体賛助会員

久留米商工会議所

(福岡市)

団体賛助会員

青少年育成 考

「いつも他の人の事を考えよう」



公益社団法人 福岡県青少年育成県民会議前理事

伊東 清寛

昨年十一月に福岡県青少年団体連絡協議会の青年リーダー養成事業で東北地方大震災被災地研修に参加した。そこで、震災後3年経過した現地の人達(仮設住宅で生活している人や若者・そして子どもたちなど)について聞いたり、話をしました。被災地の子どもたちに精神的支援をされてるNPO法人代表の話では、「被災地の子どもたちは皆、親・兄弟・友達を亡くしたりしている境遇なので、ほとんどの子どもたちが我が儘を言わなくなり我慢強くなった」そうです。自分の思いを素直に言えなくなったのは可哀想な気がします。

福岡県でも多くの人達が東北の被災地の子どもたちの為に、街頭募金やいろんな支援をしたと思います。また少年の主張で作文を書いて、選ばれて県

大会で発表した人達もいます。私達は同じ日本人として、そういう被災地の人と友達になり、一緒に現在の悩みや将来について考えられるような人になりたいものです。

福岡で生活できている私達は幸せです。世界にはテロリストに誘拐されたアフリカの学校の子どもたちや自分達の国が内戦で親・兄弟を亡くしたり、隣国に難民となつて逃げている子どもたちもたくさんいます。

私達に何が出来るか、その為に自分はどうな勉強や活動が出来るか考えてみましょう。そうすることで、私達が他の人の役に立ち、幸せと考えられる時が来ると思います。若い時の苦労は買ってでも行いなさい、という言葉は伝えがあります。

編集後記

7月発行の本紙は、県民会議「定時総会」が紙面の柱になります。加えて、今回は特集記事として、春日市にある「福岡県精神保健福祉センター」を訪ね、その業務内容取材しました。一般にあまり知られてない施設ですが、その業務内容は多岐に渡り、薬物依存・引きこもり、精神障がいなど多くの問題を抱えた家族、本人、関係者の公的支援の場になっています。薬物や脱法ハーブの問題が身近になってきた昨今、この特集が問題を抱える人たちやその関係者に役立てば幸いです。

(広報部会長・馬場京子)

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動を行っています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左のとおりです。電話(092-643-6001) いただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

- 個人 1口 1,000円
- 法人又は団体 1口 15,000円
- 特別賛助会員 1口 50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。

- 西日本シティ銀行県庁前出張所(普通預金) 0163919
- 福岡銀行県庁内支店(普通預金) 526475
- 筑邦銀行福岡支店(普通預金) 1597091
- 福岡中央銀行本店(普通預金) 1030569
- 県庁内郵便局郵便為替口座 福岡 01700-5-4057



この用紙は、森林資源保護のための再生紙を使っています。